

授業改善書

科目名	知覚心理学
担当者	米村 朋子

授業の概要

知覚心理学は、世界にあるさまざまな情報から自分を取り巻く環境を認識する仕組みを科学的に明らかにしようとする心理学の分野です。本授業では、知覚心理学の幅広い研究領域に関して、それぞれの領域を代表する基本的な理論・モデルや、知覚研究知見が社会や技術へ応用される例を紹介し、脳の中で行われている複雑な情報処理について理解を深めていただきます。

授業の問題点

授業アンケートから、「授業外学習(予習や復習など)をしましたか」「質問や発言をしましたか」「ノートやメモ等を取りましたか」の項目に対して、平均よりも低い評価を受けた。講義形式かつ遠隔形式の授業であったことで、受け身でも受講可能な内容になっていた点が問題だと考えられる。また、参考書の提示は行ったものの、教科書を必須としなかったことや、予習復習の実施の確認をしなかったことが、授業外学習のモチベーションを高められなかったのかもしれない。ノートやメモを取ることは、取る学生と全くとらなかった学生に分かれた可能性がある。

学生の授業満足度

授業アンケートから、授業内容、授業方法、授業満足度の全ての項目で、平均よりも高い評価を受けた。特に、「毎回の授業でテーマは明確に示されましたか」「授業を円滑に進めるための配慮はなされていませんか」などの項目では高い満足度が得られ、各回の授業意図が伝わりやすかったと感じてくれていたことが分かった。最も満足度が低かった「シラバスに提示されていた内容、進度と一致していましたか」の項目については、教員のミスにより一部内容が変更になった回があり、学生さんには迷惑をおかけしたことが影響していると考えられる。

授業改善の課題と方策

上述の「授業の問題点」および「学生の授業満足度」で評価の低かった下記4項目について以下の改善を実施することとする。

- ・授業外学習について：積極的な学習がしやすい課題を明示する
 - ・質問・発言について：授業内でのこちらからの問いかけを増やし発言を促す
 - ・ノート・メモについて：メモを取りやすい資料を配布する
 - ・シラバス内容について：シラバスを精査するとともに次回予告などでミスを防ぐ
- その他の項目についても評価がより高まるよう、改善を検討する。

その他

授業内容に関する最新の話題を調べて教えに来てくれたり、わからなかったことを積極的に質問してくれたり、積極的に取り組んでくださった学生さんが複数おられ、教員としても大変学びの多かった授業でした。単なる知識を得るだけでなく、日頃の生活と結び付けて考えるスキルを身に付けていただける授業が提供できるよう、今後一層励みます。